



道路美化活動を行いました！

8月4日(木)

『道路ふれあい月間』のイベントとして花巻地方振興局土木部では、部内職員のみで4日(木)の午後から23名の参加者で管内の国道2路線、県道1路線の計3路線の道路美化活動(ゴミ拾い)を実施しました。

当日は、梅雨明けの日で気温も30度を超え暑い日でしたが、のぼり旗を先頭に参加者全員袋を片手に持ち路肩に捨てられている空きカンや紙くず等を拾い集めました。思っていた以上にゴミがあり、参加者一同驚いています。



千厩で道の日イベントを開催！

8月10日(水)

8月10日『道の日』関連のイベントを、かわさき道の駅を中心に行いました。

千厩地方振興局土木部職員のほかに、建設業協会千厩支部(青年部会、女性マネジメントスタッフ)、川崎村職員、川崎村商工会の人等総勢約120人が参加し、道の駅特設テントでのパンフレット、花苗、ポケットティッシュ等の配付、国道284号の花壇清掃やごみ拾い、高所作業車や道路関係特殊作業車の展示を行いました。

また、室根村及び東山町の産直センターでも、各町村職員によるパンフレットやポケットティッシュの配付が行われました。



先人たちの足跡をたどる！

8月7日(日)

「道の日」を8月10日に控え、二戸地方振興局土木部では8月7日(日)に道の日イベントを行いました。

歴史の道シリーズ第9弾『先人たちの足跡をたどる』として、今回は一戸町波打峠から鳥越もみじ交遊舎までの道のりを参加者125名が歩きました。

暑い日でしたが、みなさん無事ゴールしました。



気仙歴史の道をおもひをたどるを開催！

8月10日(水)

「道の日」を記念し、「気仙歴史の道をおもひをたどる」一日頃市・南部塩街道から、今年しか見られない鷹生ダム湖底を刻む道一の行事を気仙地域の県・市・町で構成する道の日記念行事実行委員会の主催で8月10日に開催しました。

参加者は4歳から87歳までの老若男女総勢294名。

散策は午前9時40分に大船渡市日頃市町内の長安寺を出発し、鷹生ダム多目的広場まで、途中にある史跡を見学しながら、約9kmを3時間かけて行われました。史跡等の案内は日頃市公民館長佐藤善士氏にお願いしました。

「道の日」記念行事をご理解のうえ参加くださいました皆様に、厚くお礼申し上げます。



道の日で街頭パレード！

8月10日(水)

道の日を迎えた8月10日、宮古市では「宮古道路を守る会」の主催によるクリーン作戦と街頭パレードが開催されました。

これは、私たちが日頃何気なく利用している道路について、その意義と重要性、そして愛護の精神を高めるものとして例年開催されており、ことしで17回目を迎えたものです。

街頭パレードには、地元中学校のプラスバンドを先頭に、宮古市長や宮古地方振興局土木部長、そして土木部の職員らも参加し、総勢339人により道路の存在感を大きくPRすることが出来ました。



一般県道薄衣舞川線が完成！

8月9日(火)

一般県道薄衣舞川線は現道が一関遊水地内にあり、北上川の洪水時には道路が冠水し通行止を余儀なくされていましたが、その解消を図るため南側の高台に道路を切り替えることとし、冠水対策として工事を進めていました。一般県道薄衣舞川線（延長2000m）が完成し、8月9日、供用開始いたしました。

引き続き一関北上線（舞川工区）の整備をすすめていきたいと思います。



新老松橋工区、遂に開通！

8月27日(土)

花泉町中心商店街を迂回する1km余りの主要地方道花泉藤沢線「涌津～老松工区」道路改築事業は、14年もの永き歳月を経て此の程完工に至り、台風一過の8月27日（土）、現地で開通式典を行いました。

新老松橋の渡り初めは、親子三代（3組）を先頭に老若男女約300人で賑わいました。

長年に亘り、現道は大型車両の交通規制をしておりましたので、如何にこの日を待ち望んでいたのか、嬉しそうに渡る参加者から覗うことが出来ました。

今後は、南三陸沿岸部や東磐井地方から高速道金成若柳インターへの最短ルートとして、その役割を充分果たしてくれることと思います。



鷹生ダム試験湛水、常時満水位に達する！

8月28日(日)

5月から鷹生ダムで試験湛水を開始していましたが、8月28日（日）14時頃に常時満水位（2,180,000 m³）に達しました。翌日の29日現在で、EL260.72 m（NWL260.50m）の水位となっています。

鷹生ダムの集水面積は17 km²と小さいため試験終了まで約1年かかりますが、その間、毎日監視を行い堤体の安全を確認していきます。

大船渡方面にお越しの際は、是非お立ち寄りください。